



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月29日

上場会社名 株式会社 不二家  
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	50,208	6.9	1,621	464.0	2,156	386.4	866	—
2020年12月期第2四半期	46,984	△6.7	287	△44.7	443	△32.9	△171	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,582百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △227百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	33.62	—
2020年12月期第2四半期	△6.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2021年12月期第2四半期	69,731	70.4	51,275	70.4	70.4
2020年12月期	71,367	67.6	50,284	67.6	67.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 49,102百万円 2020年12月期 48,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期期末配当金内訳 普通配当25円00銭 記念配当5円00銭

※配当予想の修正については、本日(2021年7月29日)公表いたしました「2021年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,500	4.5	4,200	68.2	4,800	58.1	2,400	129.4	93.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正については、本日(2021年7月29日)公表いたしました「2021年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	25,784,659 株	2020年12月期	25,784,659 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	9,709 株	2020年12月期	9,642 株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	25,774,976 株	2020年12月期2Q	25,775,090 株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～6月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったものの、依然として感染拡大の影響があり、厳しい状況となりました。

食品業界においては、外出や会食の自粛があり、特に飲食店や物販店では大きな影響を受け、厳しい経営環境となっております。

このような状況下において当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスを提供できるよう、従業員の健康管理をはかりつつ、巣ごもり消費など新しい生活様式に対応した営業施策のもと、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、洋菓子事業、製菓事業ともに好調に推移し、売上高は、502億8百万円（対前年同期比106.9%）と、前年同期の実績を上回りました。利益面でも営業利益は16億21百万円（対前年同期比564.0%）、経常利益は21億56百万円（対前年同期比486.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億66百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億71百万円）と、前年同期の実績を上回り、コロナ禍の厳しい経営環境ではありましたが、増収増益とすることができました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2021年1月1日から 2021年6月30日まで		2020年1月1日から 2020年6月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	11,976	23.9	11,122	23.7	107.7	854
	レストラン	1,976	3.9	1,953	4.1	101.2	23
	計	13,952	27.8	13,075	27.8	106.7	877
製菓事業	菓子	32,145	64.0	29,905	63.7	107.5	2,239
	飲料	2,685	5.4	2,538	5.4	105.8	146
	計	34,830	69.4	32,444	69.1	107.4	2,386
その他		1,425	2.8	1,464	3.1	97.3	△39
合計		50,208	100.0	46,984	100.0	106.9	3,223

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店にて、産地・品種にこだわった原料を使用した新製品や、人気製品を拡販する施策を週替わりで実行しております。同時に、特に若年層に向けた販売促進活動を展開し、新規顧客の獲得にもつとめた結果、売上は前年同期の実績を上回ることができました。なお、当第2四半期連結会計期間末の不二家洋菓子店の営業店舗数は、前年同期差91店増の959店となっております。

広域流通企業との取り組みについては、製菓事業と連携し、アニメキャラクターとのコラボレーションを実施したパフケーキの製品提案を積極的に行うなど、売場確保をはかった結果、前年同期を上回る売上となっております。

また、好調な売上のもと販売管理費の抑制につとめ、利益面では黒字に転じることができました。

㈱不二家神戸（2021年4月1日付で㈱スイートガーデンから商号変更）では、チェーン店の不二家ブランドへの転換を進め、不二家製品の品揃えを充実させた結果、第2四半期は増収に転じております。利益面では倉庫費、物流費など販売管理費の改善を進めることができました。

㈱ダロワイヨジャポンでは、積極的な販売促進活動のもと、主力製品であるマカロンの販売が伸長し、インターネット通販等にも注力したことにより前年同期を上回る売上となっております。利益面では好調な売上により生産性が向上し、黒字に転じることができました。

この結果、洋菓子類の売上高は、119億76百万円（対前年同期比107.7%）となりました。

レストラン事業では、好調なケーキ類の拡販や、料理のテイクアウトシステムを導入して売上確保をはかった結果、売上高は19億76百万円（対前年同期比101.2%）となっております。また、2021年7月1日付で㈱不二家フードサービスを当社に吸収合併したことにより、洋菓子販売を有するレストランとしての特長をさらに活かし、ライフスタイルや市場環境の変化に対応した店舗作りやメニュー強化に取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は139億52百万円（対前年同期比106.7%）となりました。

#### <製菓事業>

当社単体の菓子においては、販売が好調な「カントリーマアム チョコまみれ」の生産体制を増強し、需要に合わせた包装形態も取り揃え、一層の販売伸長をはかっております。また、「ミルクィー」発売70周年を記念し、洋菓子事業と連携して行ったキャラクターコラボレーションにより「ミルクィー缶」などミルクィーブランド製品の売上も伸長しており、前年同期の実績を上回る売上となりました。

利益面でも、生産性の向上、販売管理費の抑制等により、前年同期の実績を上回ることができました。

不二家（杭州）食品有限公司では、人気のポップキャンディの販売が好調に推移し、インターネット通販の拡大にも注力した結果、売上・利益ともに前年同期の実績から大きく伸長させることができました。

この結果、製菓事業における菓子の売上高は、321億45百万円（対前年同期比107.5%）となりました。

飲料については、低迷していた自販機販売の回復があり、売上高は26億85百万円（対前年同期比105.8%）と前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、348億30百万円（対前年同期比107.4%）となりました。

#### <その他>

キャラクターグッズ販売、ライセンス事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務は、引き続き好調であります。不動産賃貸事業の家賃収入の減少が影響し、その他事業全体の売上高としては、14億25百万円（対前年同期比97.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は332億28百万円で、主に受取手形及び売掛金や棚卸資産の減により前連結会計年度末に比べ23億91百万円減少いたしました。固定資産は365億3百万円で、主に有形固定資産の増により、前連結会計年度末に比べ7億55百万円の増加となりました。

この結果、総資産は697億31百万円で前連結会計年度末に比べ16億35百万円減少いたしました。

また、流動負債は146億54百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払金の減により前連結会計年度末に比べ24億88百万円減少いたしました。固定負債は38億1百万円で、主に長期借入金やリース債務の返済により前連結会計年度末に比べ1億37百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計184億56百万円で、前連結会計年度末に比べ26億26百万円減少いたしました。

純資産は512億75百万円で、主に利益剰余金や為替換算調整勘定の増により前連結会計年度末に比べ9億90百万円減少いたしました。

次に、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、67億11百万円（前年同四半期は54億4百万円の獲得）となりました。これは主

に税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億28百万円（前年同四半期は7億38百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億45百万円（前年同四半期は11億33百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、165億53百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年7月29日)公表の「2021年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,943	19,638
受取手形及び売掛金	13,196	8,000
商品及び製品	3,567	2,611
仕掛品	379	398
原材料及び貯蔵品	1,991	2,010
その他	811	820
貸倒引当金	△271	△253
流動資産合計	35,619	33,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,043	7,301
機械装置及び運搬具（純額）	9,982	9,804
土地	3,647	3,647
リース資産（純額）	832	708
その他（純額）	1,403	2,131
有形固定資産合計	22,909	23,593
無形固定資産		
その他	1,953	1,821
無形固定資産合計	1,953	1,821
投資その他の資産		
投資有価証券	6,518	6,681
繰延税金資産	1,335	1,360
敷金及び保証金	2,114	2,127
退職給付に係る資産	246	250
その他	834	822
貸倒引当金	△164	△154
投資その他の資産合計	10,885	11,087
固定資産合計	35,748	36,503
資産合計	71,367	69,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,988	5,051
短期借入金	1,222	1,123
1年内償還予定の社債	90	-
リース債務	332	263
未払金	5,321	4,386
未払法人税等	908	704
賞与引当金	341	381
店舗閉鎖損失引当金	-	81
その他	2,938	2,663
流動負債合計	17,142	14,654
固定負債		
長期借入金	108	32
リース債務	490	405
繰延税金負債	63	63
退職給付に係る負債	2,390	2,412
長期未払金	3	3
その他	882	883
固定負債合計	3,939	3,801
負債合計	21,082	18,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,065	4,065
利益剰余金	25,763	26,243
自己株式	△18	△18
株主資本合計	48,090	48,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	212
為替換算調整勘定	△0	388
退職給付に係る調整累計額	△41	△68
その他の包括利益累計額合計	144	531
非支配株主持分	2,049	2,173
純資産合計	50,284	51,275
負債純資産合計	71,367	69,731



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	46,984	50,208
売上原価	25,179	26,179
売上総利益	21,804	24,028
販売費及び一般管理費	21,517	22,407
営業利益	287	1,621
営業外収益		
受取利息	38	53
受取配当金	31	21
持分法による投資利益	60	227
助成金収入	-	194
その他	52	75
営業外収益合計	183	571
営業外費用		
支払利息	7	4
為替差損	3	-
その他	16	30
営業外費用合計	27	35
経常利益	443	2,156
特別利益		
固定資産売却益	0	3
助成金収入	54	-
特別利益合計	54	3
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産廃棄損	33	38
減損損失	63	198
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	81
臨時休業等関連損失	136	-
災害損失	-	17
特別損失合計	233	338
税金等調整前四半期純利益	263	1,821
法人税、住民税及び事業税	319	792
法人税等調整額	15	△12
法人税等合計	335	779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72	1,042
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	175
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△171	866

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72	1,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	16
為替換算調整勘定	△140	543
退職給付に係る調整額	△17	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	9
その他の包括利益合計	△154	540
四半期包括利益	△227	1,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286	1,253
非支配株主に係る四半期包括利益	59	329

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	263	1,821
減価償却費	1,997	1,961
減損損失	63	198
持分法による投資損益 (△は益)	△60	△227
臨時休業等関連損失	136	-
助成金収入	△54	△194
売上債権の増減額 (△は増加)	6,861	5,307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	876	940
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,812	△986
未払金の増減額 (△は減少)	△1,748	△879
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△22	△36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	14
その他	△675	△491
小計	5,823	7,427
利息及び配当金の受取額	148	173
利息の支払額	△8	△5
法人税等の支払額	△437	△1,033
その他	△122	148
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,404	6,711
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	380	507
固定資産の取得による支出	△1,086	△2,227
その他	△33	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△738	△1,828
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△20
長期借入金の返済による支出	△258	△155
社債の償還による支出	△70	△90
リース債務の返済による支出	△284	△190
配当金の支払額	△321	△384
非支配株主への配当金の支払額	△168	△205
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△1,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,511	3,978
現金及び現金同等物の期首残高	11,230	12,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,742	16,553

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,075	32,444	45,520	1,464	46,984	—	46,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	271	271	271	542	△542	—
計	13,075	32,715	45,791	1,736	47,527	△542	46,984
セグメント損益(△は損失)	△956	2,541	1,584	336	1,921	△1,633	287

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,633百万円には、その他の調整額16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,649百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,952	34,830	48,783	1,425	50,208	—	50,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	280	280	270	551	△551	—
計	13,952	35,111	49,064	1,695	50,759	△551	50,208
セグメント損益(△は損失)	△443	3,626	3,183	242	3,426	△1,805	1,621

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,805百万円には、その他の調整額23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,828百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

- 3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。